

第45回日本血管外科学会学術総会会告（第2次）

第45回日本血管外科学会学術総会を下記のとおり開催いたします。
 会員の皆様には多数のご応募、ご参加をお願い申し上げます。

第45回日本血管外科学会学術総会 会長 末田泰二郎

記

会 期： 2017年4月19日（水）～21日（金）

会 場： 広島国際会議場 / ANA クラウンプラザホテル広島

【広島国際会議場】

〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5（平和記念公園内） TEL：082-242-7777

<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>

【ANA クラウンプラザホテル広島】

〒730-0037 広島県広島市中区中町7-20 TEL：082-241-1111

<http://www.anacrowneplaza-hiroshima.jp/>

会 長： 末田 泰二郎（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 外科学）

テーマ： 進化するデバイス，深化する技術；

Development of vascular device and progress of surgical procedure

プログラム内容（予定）：

理事長講演，会長講演，特別講演，教育セミナー，医療安全講習会，指導医講習会，新専門医制度講演，International Symposium，シンポジウム，ビデオシンポジウム，ビデオセッション，会長要望演題，YIA，一般演題（口演・ポスター），CVT 講習会，ステントグラフトワークショップ，日本血管看護研究会

演題募集期間： 2016年9月13日（火）～10月12日（水）

※演題登録はすべてオンライン登録となります。

総会ホームページ： <http://www.med-gakkai.org/jsvs45/>

※詳細は学会ホームページおよび総会ホームページでご案内いたします。

■事務局

第45回日本血管外科学会学術総会 事務局

広島大学大学院医歯薬保健学研究院

応用生命科学部門 外科学

〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3

TEL：082-257-5216 FAX：082-257-5219

事務局長：高橋 信也

（広島大学大学院医歯薬保健学研究院

応用生命科学部門 外科学）

■運営事務局

株式会社メッド

〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3

TEL：086-463-5344 FAX：086-463-5345

「血管外科の来し方行く末—エンドポイントは何処に？」

国際医療福祉大学臨床医学研究センター，山王メディカルセンター・血管外科
日本血管外科学会前理事長 重松 宏

血管外科が他の外科と異なる所は，手術をしないという選択肢を常に有している点にある．全身に張り巡らされ，組織，臓器の integrity を保つのに重要な役割を果たす血管は，原始的であるが故に高度な自立性を保っており，悪性疾患に対する外科的介入とは異なるため，常にその選択の妥当性が問われる．さらに厄介なことに，疾病は絶えず政治を含めた社会環境や構造，食生活などにより大きな影響を受けるため，変遷していくなかでの立ち位置を常に考えなければならない状況が生まれている．閉塞性動脈疾患をとってみても，衛生面を含めた生活水準や食生活の向上を背景として，江戸時代から我が国固有とされていた特発性脱疽，Buerger 病は影を潜め，1970年代からは動脈硬化性血管疾患が急増してきている．第二次世界大戦により生じた人口構成の歪みは，世界で類をみない超高齢化社会の出現となり，その変化は我が国に止まらず，第二次世界大戦に参入した欧米諸国の共通の現象として現れ，共通の課題として欧米を中心とした国際学会が成立している．



理工学系の進歩は医療にも大きな変化を与え，医学そのものの進歩を凌駕するものがある．ステントグラフトは動脈瘤治療を一変させ，ドプラ血流計は虚血肢の評価に大きな影響を与え，1980年代の重症虚血肢基準作成の契機となったが，したたかな血管新生力は結論を与えていない．1990年代に入ると，間歇性跛行というブラックボックスがテーマとなり，種々の評価法が試みられ，一定の成果が得られてはいるものの，客観的機能評価法は確立されていない．現象としての跛行症状はあっても評価法が定まらないなかで，種々の薬剤が有効性を求めて治験が行われたが，有効性を明らかにできたものはなかった．しかしながらその検討過程のなかで，大多数を占める跛行患者の生命予後という観点から，患者にとって何が重要なのかという，本来検討されるべき問題が明らかになってきた．

21世紀に入り，動脈硬化という共通の背景を有する疾患群を，個別臓器の問題として対応するのではなく，狭義の血管病という概念で包括的に捉える考え方が広まってきた．生まれた時から始まる動脈硬化の，加齢による終末像として出現する臓器障害への対応は，現在のところモグラ叩きの域を出ない．異なる生活習慣や併存疾患を有する個別の患者で，エンドポイントと表現する治療目標を何処に置くかを決めるのは容易ではない．

閉塞性動脈疾患に限らず，大動脈瘤や静脈疾患，リンパ管疾患についても，同様にエンドポイントの設定が問題となる．外科的治療の選択が容易な，生命予後が危機的に切迫している状況は少ない．病態の転帰を正確に予測し，手術という観血的治療が患者にとってベストであるという判断を下すには，疾患の医学的な評価のみではなく，患者本人や家族の求めるエンドポイントへの配慮も必要とする．このようにエンドポイントの設定が困難である別の側面は，エンドポイントが病態の変化という時間軸のなかで設定されたポイントに過ぎない点にある．エンドポイントは移動する．

さて，会員諸兄にとって“let it go (アナと雪の女王)”は，治療する立ち位置からでしょうか？ 患者の立ち位置からでしょうか？ そして皆さんの人生のエンドポイントは何処にあるのでしょうか？

お知らせ

●データベース管理運営委員会からの重要なお知らせ

平素より、データベース管理運営委員会活動にご支援を賜り、ありがとうございます。この度、会員の皆様に急ぎご報告しなければならない案件があり、お知らせ申し上げます。

1) 心臓血管外科専門医申請における血管外科手術経験点数集計の不具合について

心臓血管外科専門医を今年新規申請または更新を予定されている先生で、経験点数が機構の要求水準に届かず、今年の申請を見送ろうとされている先生には特にご注目頂きたい不具合が発生してしまいました。現在各種の方法で周知に努めております。詳細は心臓血管外科専門医認定機構のホームページでご確認いただけますよう、何卒お願い申し上げます。

不具合の発生原因は当委員会にあります。関連の皆様には大変なご迷惑ご心配をおかけしていることを深くお詫び申し上げます。

2) 血管外科手術集計アニュアルレポート2011, 2012年度版の改訂について

腹部大動脈瘤の破裂および非破裂例について、死亡率の詳細を新たに学会ホームページに掲載いたしましたので、ご報告いたします。本改訂により、術式別に解析が可能となりますが、対象となった症例の手術リスクや瘤の形態などについて調整を行っていないため、単純な比較には耐えない数値であることをご了解のうえ、ご参照いただけますたら幸いです。

●血管内治療医制度委員会からのお知らせ

血管内治療医制度委員会委員長 石橋宏之
平成27年10月血管内治療医制度が一部改定されました。外科専門医であることが必須になり、必要経験から大動脈SG手術が除外され、末梢動脈疾患に対する血管内治療30例が必要となりました。SG手術と同時に行った内腸骨動脈塞栓、腎動脈ステント留置、アクセス動脈バルーン拡張など付随的技は1手技のみ認められます。末梢動脈疾患血管内治療を行う血管外科医のための制度に強化され、バイアバーン実施基準においても、IVR専門医、心血管インターベンション認定医と並ぶ必要資格の一つとして認定されました。今後、新しいデバイス出現の際にも、必要資格として認められる予定です。血管内治療を行う血管外科医は、是非取得して下さい。詳細はHPをご参照下さい。
http://www.jsvs.org/ja/certified_physician/

●第2回血管内治療ワークショップのお知らせ

日本血管外科学会主催、第2回日本血管外科学会血管内治療ワークショップを2016年11月4日、5日の2日にかけて東京サイエンスセンターで開催いたします。

予定プログラム：

■2016年11月4日

・ビデオセミナー

下肢血管内治療の現状と適応

血管内治療に必要な血管造影の基本

血管内治療に必要なガイドワイヤーとデバイスの種類・選択

穿刺アプローチ法

Iliac CTO 病変に対する血管内治療とトラブルシューティング

SFA CTO 病変に対する血管内治療 (IVUSの利用法を含む)

膝下病変に対する血管内治療

血管内治療と手術のハイブリッド治療の解説

バイパスグラフト狭窄に対する血管内治療

・症例検討

実際の症例をスモールグループに分かれ治療法について討論する。

■2016年11月5日

・Wet Lab による Hands on

下肢 EVT に用いるデバイスの概説と実際の操作

●「下肢アテローム硬化性閉塞性動脈疾患に対する診療ガイドライン」について

日本血管外科学会理事長 宮田哲郎

適応が厳格になり症例数が減った PCI に代わり、ガイドラインが未整備な ASO にやたらインターベンションを行って荒稼ぎしている心臓内科医がいるという記事が、2015年1月29日付けの New York Times に掲載された。これに対し、当時の SVS 会長 Peter Lawrence が、SVS は ASO の適切な治療を目指しガイドラインを発表したので、血管疾患の治療にあたる全ての医師が参照してほしいとのレターを寄稿した。このガイドラインでは、無症状や間歇性跛行は保存的治療が第一選択であること、侵襲的治療は保存的治療で改善しない重症例にのみ行う手段であることが力説されている。鮮烈なデビューとなったこのガイドラインの翻訳版は日本血管外科学会のホームページで参照できる。是非活用し患者本位の医療を実践して頂きたい。

●2016年心臓血管外科専門医認定試験のご案内

日 時：2016年11月4日 (金)

集合時間 12:30、試験時間 13:00~16:00 (3時間)

会 場：JP タワーホール

東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JP タワー・KITTE 4階

TEL：03-5222-1800

<http://www.jptower-hall.jp/access/index.html>

アクセス：JR 東京駅 / 徒歩約1分、丸の内線東京駅 / 地下道より直結、千代田線二重橋前駅 / 徒歩約2分、三田線大手町駅 / 徒歩約4分、JR 京葉線東京駅 / 徒歩約3分、有楽町線有楽町駅 / 徒歩約6分、JR 有楽町駅 / 徒歩約6分

試験形式：筆記試験 Multiple choice

持参物：受験票、HB 黒鉛筆、プラスチック製消しゴム、下敷き (A4)、時計 (携帯電話不可)

関連学会学術総会情報

※詳細については各学会にご確認ください。

■第57回日本脈管学会総会

会期：2016年10月13日（木）～15日（土）
会場：ホテル日光奈良
〒630-8122 奈良県奈良市三条本町8-1
会長：吉川公彦（奈良県立医科大学放射線医学教室・
IVRセンター）
URL：<https://confit.atlas.jp/guide/event/jca57/top>

■第37回日本静脈学会総会

会期：2017年6月15日（木）～16日（金）
会場：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）
〒770-0835 徳島県徳島市藍場町2丁目14
会長：北川哲也（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 心臓
血管外科学分野）
URL：<http://www.sec-information.net/jsp37/>

■第69回日本胸部外科学会定期学術集会

会期：2016年9月28日（水）～10月1日（土）
会場：岡山コンベンションセンター
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14-1
ホテルグランヴィア岡山
〒700-8515 岡山県岡山市北区駅元町1-5
ANA クラウンプラザホテル岡山
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15-1
会長：三好新一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究
科 呼吸器・乳腺内分泌外科）
URL：<http://www2.convention.co.jp/69jats/index.html>

■第47回日本心臓血管外科学会総会

会期：2017年2月27日（月）～3月1日（水）
会場：グランドニッコー東京 台場（旧ホテルグランパ
シフィック LE DAIBA）
〒135-8701 東京都港区台場2-6-1
会長：橋本和弘（東京慈恵会医科大学心臓外科学講座）
URL：<http://www2.convention.co.jp/jscvs47/>

■第117回日本外科学会定期学術集会

会期：2017年4月27日（木）～29日（土）
会場：パシフィコ横浜
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい
1-1-1
会長：桑野博行（群馬大学大学院病態総合外科学）
URL：<http://www.jsoc.or.jp/jss117/outline.html>

■2016年 ASVS (Asian Society for Vascular Surgery)

会期：Oct 20 - Oct 23, 2016
会長：Peter Robless
会場：Grand Hyatt Singapore
総会 HP：<http://www.asvs2016.com/>

■2017年 VAM, Vascular Annual Meeting (Society for Vascular Surgery)

会期：May 31 - June 3, 2017
会場：San Diego Convention Center, San Diego, CA,
USA



編集 日本血管外科学会 広報委員会
発行 特定非営利活動法人 日本血管外科学会
〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4F
公益財団法人 日本心臓財団内
TEL：03-5989-0991 E-mail：jsvs@jhf.or.jp <http://www.jsvs.org/ja/>
制作 株式会社メディカルトリビューン